

年金引き下げ強行に抗議する声明

政府は、物価指数の低下を口実とする2011年度年金引き下げを強行しました。これは、年金者の生活実態を無視するだけでなく被災高齢者に追い討ちをかけるものであり強く抗議します。

私たちは、「物価指数低下」は、主としてIT機器など高齢者の生活と関係の薄いものであり、生鮮食料品などが高止まりしていること、物価上昇も始まっていること、年金課税強化と医療・介護保険料の連続的な引き上げなどにより、高齢者の貧困が増し熱中症死・孤独死などが深刻になっていること、年金引き下げは、障害者などへの給付など弱者を直撃すること、年金引き下げが国内消費を冷え込ませ景気回復を妨げること、社会経済情勢を考慮して引き下げを凍結した前例に倣うべき情勢に今あること、などを理由に引き下げ凍結を要請してきたところです。

そして、このたびの未曾有の大震災・大津波です。加えて、重大な原発事故が重なりました。こんな非常事態にあたり被災高齢者に新たな苦難を加えるなどもってのほかというべきです。

このような状況と私たちの度重なる要請を無視して年金引き下げを強行した政府に対し、私たちは重ねて抗議しその実施凍結のための特例法を要求するとともに、被災住民特に高齢者をはじめとする弱者の救済に、全力を挙げて取り組むことを強く要求するものです。

2011年4月1日

全日本年金者組合
中央執行委員長 篠塚多助